

知識の3Rを進めるために

**講師****山本 泰智 特任准教授**

情報・システム研究機構

データサイエンス共同利用基盤施設

ライフサイエンス統合データベースセンター

日付：6月 23日（金）**時間：17時30分～19時00分****場所：E203 教室**

講演概要

コンピュータサイエンスと計算機ハードウェアの急速な発展により、以前では考えられなかったほどの量の情報が処理されると共に流通、蓄積されるようになった。現在、世界で日々生産される情報量は、実に3億28百万テラバイトにも達する。これは、8K解像度の動画番組をひと時も休まず鑑賞したとしても、なんと80万年程度かかる計算になる。

このような状況においてより良い研究を進めるためには、これまで蓄積されてきた知識を効率よく利用可能にし、既に行われている取り組みを繰り返すことなく、新たな知見を得る必要がある。つまり、知識資源の3R、Reuse、Reduce、Recycleが肝要となる。私はこれまで、この営みに貢献できるよう、コンピュータを利用した研究開発を進めてきた。講演では、以上の背景や私の取り組みを紹介したい。

問い合わせ先

伊藤和義：kazuyoshi★soka.ac.jp

研究所HP：<https://www.soka.ac.jp/glycan/>

メールアドレスの★を半角@に変えてください

